

人間存在研究領域 履修例

学生の専攻分野・出身背景等(例)	総合科学部出身学生	他学部・他大学出身学生	社会人
研究テーマ(例)	現代の美的実践とアートの癒し	幸福なる生を巡る思想と行為	人間の価値観と文明の衝突
履修科目(例)	必修科目 (14単位) 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(人間存在研究) (8) 選択必修科目 (12単位) 【主領域科目】 (8) 哲学・思想 美的存在論 藝術存在論 藝術文化論 【他領域科目】 (4) 宗教学 文明共存論 自由選択科目 (4単位) 日本文化論 英米文藝社会論	必修科目 (14単位) 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(人間存在研究) (8) 選択必修科目 (12単位) 【主領域科目】 (8) 哲学・思想 応用倫理学 美的存在論 藝術存在論 【他領域科目】 (4) 社会行動論 異文化理解 自由選択科目 (4単位) 藝術文化論 宗教学	必修科目 (14単位) 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(人間存在研究) (8) 選択必修科目 (12単位) 【主領域科目】 (8) 哲学・思想 応用倫理学 藝術存在論 藝術文化論 【他領域科目】 (4) 比較語用論 科学・技術・社会論 自由選択科目 (4単位) 美的存在論 社会文化史
教育目標(例)	広い意味での哲学的視野から総合的に物事を判断する知性を涵養する。人間存在の基本的構造、人間存在の創造性に焦点をあわせ、哲学・倫理学・美学・芸術学の見地から学ぶ。上記の見地から、問題を多角的に分析し、総合的に理解し、課題解決の社会的実践に寄与できる人材を育成する。	総合的に物事を判断する手法を学び、より善い社会とより善い生活を築き上げるために、現代における社会のあり方と人間存在のあり方を、哲学・倫理学・美学・芸術学の見地から問い直す批判的・総合的能力および感性を涵養し、それを行為において表現できる人材を育成する。	すでに活躍中の社会人や留学生に対して、現代における人間存在の意味を社会の構造とのかかわりにおいて問い直す分析能力と、地域社会・国際社会において分化的活動のリーダーシップを発揮できる能力をもつ人材を養成する。
授与学位	修士(学術)	修士(学術)	修士(学術)
養成する修了生像(例)	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学・研究機関の研究者・教育者を目指し、博士課程後期へ進学する者 ● アートや感性を巡る状況に鋭敏な問題意識をもつ出版者 ● 文化と経済に精通した企業の企画者や文化の運営者 ● 学芸員(美術館・博物館) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学・研究機関の研究者・教育者を目指し、博士課程後期へ進学する者 ● 現代哲学に精通したマスコミ・出版関係者 ● 企業等で企業倫理や組織問題に携わる専門職員 ● 学芸員(美術館・博物館) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現代社会の倫理的諸問題に精通したマスコミ・出版企画者 ● 学芸員(美術館・博物館) ● 帰国後母国の政府・自治体等で指導的立場を担える者